

玉清姫は実在した！ 文武天皇の妻にして 聖武天皇の母親

淀江伝説

妄想？ 真実？



日本最古のマンガ!?

信じるか信じないか？
貴方が決めてごしない

たまこし
玉の輿の語源！

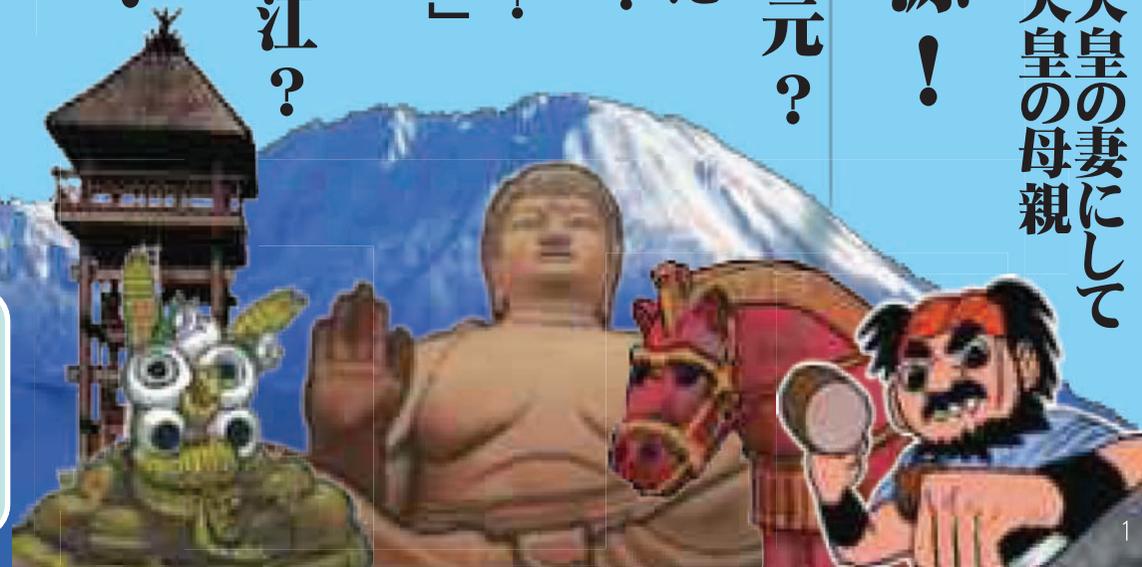
上淀廃寺の大仏が
奈良の大仏のネタ元？

**石馬さんが起こした
製鉄イノベーション！**

土器に描かれていた？
古事記「国譲り神話」

ひもおとしとへび信仰
しめ縄の起源は淀江？

古代出雲の天空の社殿
淀江に元祖が！



村はずれの道端にひっそりと置かれた小型の石像。全国的にサイノカミ(賽の神)と呼ばれ、主に疫病や厄災が集落に侵入するを防ぐのが役目。ところが、なぜか淀江では縁結びの神様なのだ。しかも男女二体のレリーフが主流。理由に定説はないが、ゴロ画伯は玉清姫伝説の影響だと考える。都で帝に見初められ、この地に繁栄と安定をもたらした玉清姫と文武天皇のエピソードを村の人々が信じ、あやかりうとしてきたのだろう。昔は、年ごろの若者がいる家に村の世話役がサイノカミの石像を運び込んだ。良縁に恵まれるとされ、首尾よく結婚が成立すると、お祝いをして、また次の家に持ち回りされる風習があったそう。

サイノカミが
縁結びの神？
淀江の特殊事情



サイノカミ
map 12
map 13



大陸文化の表玄関
仏教先進地だった
伯耆国から来た
玉清姫は憧れの
大スターだった

大山さんのおかげ

古代から淀江は、多くの魚や鳥・動物が集まる楽園。それは世界でも珍しいくらい豊かな狩猟採集の場だった。豊富な河川とわき水を利用して稲作を盛んにした。この自然の恵みを「大山さんのおかげ」と感謝し、今でも山に向かって手を合わせる地元の人々の姿は、外国人観光客の目には大変珍しく映るそうだ。それはきっと自然を愛してそのまま信仰の対象とする、日本人の原点を感じるからだろう。多くの渡来人が訪れた古代の国際都市だった頃から、開放的でフレンドリーな淀江人。きっと昔も今も、一番の観光資源なのかもしれない。



文武天皇に輿入れた伯耆のシンデレラ 玉清姫



天真名井 水車小屋 map 11

透明度抜群！ヨミガエリの名水

地下深く浸透し、再び地上に湧き出た清水は、黄泉から帰ってきた水つまり「ヨミガエリ」の神水。古代よりコンコンと湧き出る泉、その美しさは 時を超えて今も変わらない。水質も絶品で、環境省により名水百選に選ばれている。

妄想? 真実?

やりすぎ

淀江伝説



アマテラスを祀る
天空の社殿がそび
えていたのはここ
だろっ?!

古代淀江は出雲より古くから栄えていた!?

淀江伝説

* マップ内の番号は本文に出てくる
番号に対応しています

柘水高原スキー場
シンデレラの靴の形に
みえるグレンデ



おきばんだ
妻木晩田遺跡
(洞ノ原地区)

淀江平野から弓ヶ浜や
島根半島、さらに隠岐
の島まで見渡せる絶景
ビューポイント

ぎよくれんざん せいけんじ
玉簾山清見寺

玉清姫の菩提を弔うため
に聖武天皇が送った秘仏
の千手観音が12年に一
度だけ開帳される

上淀廃寺跡

玉清姫と文武天皇の聖地
秋には彼岸花が見事



上淀白鳳の丘展示館

絵画土器、入れ墨埴輪、
最古の仏教壁画、レプ
リカ大仏など、古代淀
江口マンのすべてがわ
かる



孝霊山

16



すみだ
角田遺跡

古事記の世界が描か
れた絵画土器が出土



サイノカミ石像

縁結びの神様・サイ
ノカミが守る土地

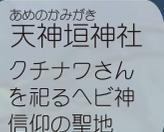
あめ まない
天の真名井

驚きの透明度! 神話「誓約
(うけい)」ゆかりの泉として
全国に点在する天の真名井
の中で唯一、名水百選に選
ばれている



大山町長田

14



あめのかみがき
天神垣神社

クチナフさん
を祀るヘビ神
信仰の聖地

石馬谷古墳

本州唯一の馬の石彫
埴輪を信仰の対象に



上津守神社

12

稲吉

2

高井谷

11

10

おきばんだ
史跡公園

晩田山

9

福岡

白鳳
高校

武崎神社

向山古墳群

3

4

上淀

7

湯口の泉

13

天井川

泉川

壺瓶山

17

山陰道 淀江出入口

JR山陰線

伯耆古代の丘公園

夏には古代ハスが咲き誇る



淀江港

国道9号

宇田川

現在の海岸線

日本海

18 古代淀江潟

古代砂州

淀江小

淀江中

国道9号

淀江支所

海目上からは
大山
孝霊山
上淀廃寺



弥生の館
おきばんだ

日本最大級の弥生集落を
体感できる、県立の展示
施設

岩屋古墳

巨石を組み上げた古代人
の技術に驚嘆





天神垣神社の
クチナフさん

はじめに

「なにもない田舎」どころか「なにを語るか困る」ほど、紹介したい魅力にあふれているのが淀江です。豊かな自然はもちろんですが、その恵みを受けた人々の暮らしは、一万年以上も前から続く歴史があります。弥生時代には日本最大級の集落となり、日本各地の民や渡来人が海から訪れる国際交流都市の顔をもち、飛鳥時代からは仏教文化が次々荷揚げされます。いわば西洋文明が押し寄せた幕末期の横浜のように、古代の淀江は見たことがないような珍しい人や物で溢れ、華やかで賑やか。日本で指折りの先進文化の玄関口だったのです。



朽ちた縄 = クチナフ

これらのことは、発掘される考古学資料によって裏付けられていますが、古代人の実生活は解明できても、彼らの心の中、どんな世界観で、何を信じて、何を大切に暮らしていたかは、想像の域を出ません。でも逆に、考古学や歴史に詳しくなくても、想像の翼を羽ばたかせ、彼らにどんなドラマがあったか知ろうとする空想の旅に出ると、古代の淀江の人たちを身近に感じることができ、大変な魅力に気づくはずですよ。

古代淀江を研究する考古学専門家



この冊子では、自作自演のライブ漫画家・ゴロ画伯が、想像力を生かして掘り当てた古代淀江伝説や仮説をイラスト付きで紹介し、大胆で「やりすぎ」な部分もあるかもしれませんが、地元専門家による考古学的「定説」と読み比べて、なにが真実か判断してください。

妄想？ 真実？ 貴方が決めてごしない！

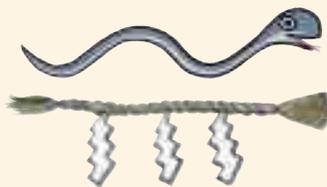
物語を大切に作る考古学者と、エンタメ色が強い漫画家の説を、同じ紙面に並べているものが、企画した淀江振興課としてはちょっとハラハラしますが、アプローチの違いはあっても、郷土を愛し、魅力を伝えたい気持ちは同じ仲間です。あなたもこの冊子を読んで、ぜひ古代の淀江で暮らした人々を今まで以上に身近に感じるようになってください。

米子市淀江振興課 山中一樹



しめ縄の起源は淀江？

淀江の上淀地区には「はっさく綱引き」という風習が残っている。全長数十メートルの巨大なしめ縄のヘビ「クチナフさん」を作り、毎年九月に綱引きをして豊作を占っている。古来よりヘビは神様として親しまれてきたのだ。



古事記



しめ縄は、ヘビを象徴化したものと言われている。古事記に描かれたエピソードにそのヒントが隠されているので、ご紹介しよう。

「仲おつまじく 国造りを なさっていた、イザナギ・イザナミのご夫婦の神様だったが、火傷で、奥さんが亡くなってしまふ。深く悲しんだイザナギさま、よみの国をさまよううちに 奥さんと再会、帰ってくれるように説得する。しかし、奥さんがオゾマシイ姿、体中に うしがわき、稲妻が走っている様子を目にして、おそれあのき逃げ出してしまふ。逆上した奥さんは、怒り狂って 妖怪たちと追っかけてくる。イザナギさまは 大きな岩で道をふさいでしまふ。それ以来、あの世とこの世が 行き来が出来なくなりました。」

日本最古の怪談というべき 恐ろしいエピソードだが、じつは 舞台となった よみの国、これが昔の 夜見の浜、つまり現在の弓ヶ浜と言う説が有力だ。

ひもおとしとヘビ信仰

「ひもおとし」って、標準語でないのは、ご存知だろうか？ 全国的には、晴れ着のお子さんと近所の氏神さまや 大きな神社に お参りする風習は、「七五三」。雲伯地方特有の異名が「ひもおとし」なのだ。といっても、本来の由来には むしろ忠実で、起源に近い呼び方かもしれない。

淀江近郊に根づいているヘビ信仰を考えてみよう。

幼児死亡率が高かった昔は、「七歳までは神のうち」と言って、神様に守ってもらわなければならなかった。そこで幼児の腰にヘビに見立てた紐を巻く習慣が始まった。無事 成長できたお祝いに、腰ひもを落として 帯に替える儀式、それが「ひもおとし」なのだ。ヘビは脱皮を繰り返して成長する。その象徴として七五三の年齢にあわせ、衣装を新調するというわけだ。ヘビは冬に死んだように見えても、春になると生き返る。脱皮と冬眠、ヘビは古代人にとって、再生・不老不死の憧れだったに違いない。



巨大なヘビ？
満月に出現する
弓ヶ浜は、主に日野川から運び込まれた 土砂によって形成された、日本一の規模を誇る巨大な砂洲(さす)だが、縄文時代はまだ海の底だった。そこは 大潮の日だけ出現する 不思議な 細い砂浜である。古代は 満月の夜に突如、突如白い砂の道が海の上に出現する現象が 起こっていたのだ！ しかも、ほぼ 東西に延びる砂洲なので、淀江から見ると日が沈む方向、まさに黄泉(よみ)の国へ続く道なのだ。





古事記の世界なのか！ 日本最古のマンガ 絵画土器

古事記



絵の描かれた弥生土器は珍しい。中でも、^{すみだ}角田遺跡map②で発掘されたこの土器は、キャラクターをデフォルメして表現した上に、物語性が感じられる点で全国的にも貴重だ。もしかしたら 今後、神話世界のストーリーを描いた日本最古のマンガとして、世界から注目される文化財になる可能性も！

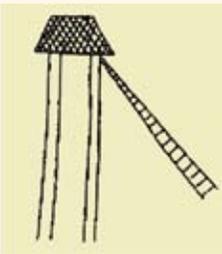
天空の社殿が淀江にあった!?

この絵画土器には古事記に記述された、序盤の有名なエピソード「国譲り」のモチーフが描かれているのではないだろうか？^{たかまがはら}高天原の^{あしはら}アマテラスが^{なかつくに}葦原中つ国の支配者であるオオクニヌシに、タケミカヅチと天鳥舟（アメトリフネ）を送って国を譲るように交渉させた、その状況を絵解きしている？

モチーフは国譲り神話か

アマテラスの社？

古代出雲の天空の社殿がモデルとした立派な建造物が淀江に実在？



淀江の社のようか？

タケミカヅチ



オオクニヌシ

国を譲る条件は

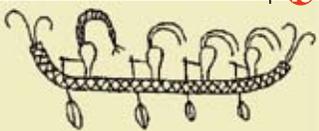
妄想？ 真実？ 淀江伝説



白鳥の丘展示館で実物を展示 map①

アマテラスの使者を乗せた アメトリフネ？

map⑱



先頭の人物がタケミカヅチ？

【冠】の起源なのか

船に乗った人物たちは、みな頭に鳥の羽根飾りのようなものをつけている。神さまの使者、神官のような 役目だとしたら、今に続く【冠】^{かんむり}の原型なのかもしれない。



たかまがはら

アマテラスの高天原なのか

国譲り神話で オオクニヌシが出した条件は「国を譲る替わりに、アマテラスが住む神殿と同じものを建ててほしい」だった。それが 絵画土器に描かれた 異様に足の長い建物だとしたら、古代の淀江こそが、^{たかまがはら}アマテラスの支配する、いわゆる 高天原だったことになるのではないか！

しめ縄を図式化

土器の首の部分に注目してほしい。ネクタイのような縄目の紋様がつけられている。当時から、神聖なへびの霊力を信じていて、これもへび信仰、しめ縄の一種だろう

^{すみだ}角田遺跡で発掘された通称「絵画土器」

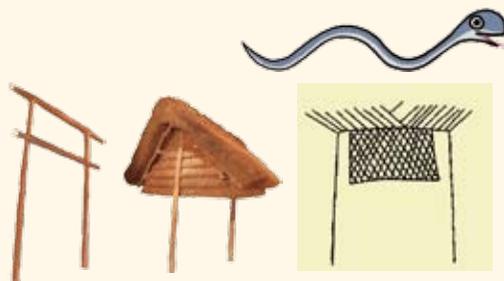


白鳥の丘展示館で展示 map①



鳥居の原型は貯蔵庫？

絵画土器は「神社」の原始的な姿を今に伝えているとゴロ画伯は推理する。この絵は住居としてはいかににも不自然だ。おそらく、元は穀物や食料を神への捧げものとして奉る、高足式の食料貯蔵施設だったのだろう。やがて藁ぶきが朽ちて構造材だけが残り、様式化され、モニュメントになったものが、現代につながる鳥居ではないだろうか。



鳥居にへびを住ませた？

高足にしたのは、穀物や木の実などの供物が 鹿や猪などに狙われないようにする工夫だが、柱を登ってくるネズミ対策がどうしても必要だった。そこでへびを住ませるアイデアを思いついた。後年、捧げものを守るへびが様式化してしめ縄となり、以来、鳥居としめ縄をセットにする現代の形になっていったに違いない。

河合章行 鳥取県立むぎばんだ史跡公園係長

【弥生時代の淀江】

淀江定説



約 6000 年前の縄文時代、現在の淀江平野は縄文海進によって、その大部分が海に覆われていました。その後、徐々に海面が低下して陸地が拡大し、^{つほかめやま}壺瓶山 map⑱ から東に伸びた砂州、その砂州によって海と内湾が遮断されて形成されたラグーン map⑱（潟湖）、その周辺に平野が広がるという環境でした。

淀江平野では、弥生時代前期中頃（紀元前 5 世紀頃）から 中期終わり頃（紀元後 1 世紀前半頃）の生活痕跡がたくさん確認されています。このうち、^{すみだ}稲吉の^{すみだ}角田遺跡 map② からは、線刻で絵画が描かれた 中期終わり頃の土器（壺）が見つかりました。この土器には、人物が乗った舟、^{ながはしご}長梯子 が取り付けられた高層建物、^{きりづましき}切妻式の高床建物、^{どうたく}銅鐸(?) をつるした 樹木が連続で描かれ、太陽を表現したと考えられる六重の同心円、^つ角が生えた鹿の絵画も確認されています。これは、当時の淀江の様子を現代のスケッチのように描いたものとして注目されます。

この頃、淀江町と大山町にまたがる国内最大級の弥生集落である、むぎばんだの地 map⑩ で人々が暮らし始めます。最初は小規模な集落でしたが、弥生時代後期前葉（1 世紀後半頃）には淀江平野に臨む洞ノ原地区 map⑨ で^{よすみとつしゆつがたふんきゆうほ}四隅突出型墳丘墓をはじめとする墳墓群、環壕が造られ、^{ふんぼく}竪穴（たてあな）住居（じゅうきよ）や高床倉庫なども急激に増加していき、後期後葉（2 世紀後半頃）には最盛期を迎えます。しかし、終末期（3 世紀前半頃）になると 集落は徐々に衰退していき、古墳時代前期（3 世紀後半頃）に集落は廃絶し、古墳が多数造営される有力者の墓域として利用されるようになります。

石馬が起こした製鉄イノベーション

「石馬さん」と淀江の人々が親しみをこめて呼び、代々あがめてきた石彫の埴輪。

実は、本州ではここにしかない激レアな存在。粘土をこねて作るのと違い、硬い石を彫るには鉄ノミと高い技術が必要だ。

作者はどんな人物だろう？ 想像すると壮大な古代ロマンがぐーんと広がる。

人類の鉄を作る技術は、今のトルコ辺りで発生して、千年以上かけて大陸を横断し伝播した。馬と共生する騎馬民族がその一翼を担っていた可能性も。日本に渡った製鉄技術は砂鉄を使った独特の「たたら製鉄」に発展、やがて山陰は日本最大の鉄生産地に成長していく。ついには大山のふもとで良質な玉鋼（たまはがね）を使った日本刀が誕生することになる。

石馬の作者は、こうした日本の鉄文化を切り開いた重要人物だったのではないだろうか？

カルチャーショックを与えた石馬

海を渡った石彫職人が淀江の浜に流れ着く。村はずれに小屋を立て暮らしはじめると、少年が遊びに来る。男は木彫りの馬をプレゼント。鉄ノミさえあれば、もっともって立派な石の馬を彫ってみせる、とつづやく。ある日、少年が大勢の大人を連れて来た。男は村人を連れ、川の上流に上り、砂鉄の採集を始める。砂鉄を溶かして鍛造するたたら製鉄の技術がこうして日本にもたらされた。男は出来上がった鉄ノミで立派な石の馬を完成させ、エキゾチックな赤い塗装もほどとして村人の度肝を抜いた。カルチャーショックを受けた村人は、われもわれもと鉄を生産。鉄を使った武器、農具が続々開発される。特に鉄の農具は開墾地を飛躍的に広げるのに役立った。水田を作る際に出る残土で古墳も次々造成された。巨石を使った石室も鉄ノミがはじめて可能にした。こうして、石馬が起こした製鉄イノベーションによって、淀江はめざましく発展し、人口もどんどん増加していったのだ。



妄想？ 真実？ 淀江伝説

激レアな石彫



製鉄技術が東に伝わった



本州で唯一とつ！ 安山岩製の馬の埴輪

製鉄技術を伝えたのは大陸からの騎馬民族の技術者？



だれも見なかったことのない
エキゾチックで神秘的な
石の馬だった！

石を彫るには
鉄ノミが
いる

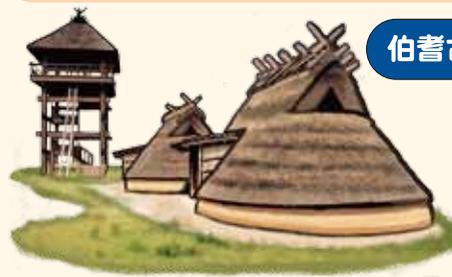


妄想？ 真実？ 貴方が決めてごしない！

砂鉄を採集するために、山を切り崩して大量の土砂を海に流した。縄文時代まで海の底だった弓ヶ浜は弥生時代に姿を現し、たたら製鉄の発展と共に大きく育っていく。やがて日本最大級の砂州となるが耕作地にはむかず、長い間、墓場以外に利用されることがなかった。そこから神話の「死者の国=ヨミノクニ」のイメージが生まれたのかもしれない。

死者の国=ヨミノクニのイメージを生む？

妻木晩田遺跡



伯耆古代の丘公園

map 5



井手狭古墳(復元)

岩屋古墳(模式図)

巨大な岩を切り出し、組み上げた、古代人の技術力に感服！



map 3

井上玲美 上淀白鳳の丘展示館 学芸員

【古墳時代の淀江】

淀江定説



淀江平野では古墳時代前期(300~400年頃)になると妻木晩田遺跡洞ノ原地区 map 9 の尾根や丘陵上に古墳が造られ始め、中期(400~500年頃)には上淀廃寺跡の近くにある小枝山に上ノ山古墳(大型円墳)が造られます。また、中西尾丘陵の先端には井手狭 3号墳が造られ、盾持人埴輪などの埴輪が多く見つかっています。後期(500~600年頃)になると、向山古墳群 map 4 に前方後円墳9基を含む17基の古墳が連続して造られ、この時期の西伯耆地域を治めていた首長の墓場であると考えられています。

向山古墳群は、淀江平野の東側にある向山と瓶山、南の小枝山にある石馬谷古墳を含め国史跡に指定されています。淀江平野最大の向山4号墳(全長64.5mの前方後円墳)の他、岩屋古墳 map 3(全長52mの前方後円墳)は各壁を1枚の切石で造った横穴式石室を持ち、これは出雲地域で多く見られます。また、長者ヶ平古墳からは金銅製透彫冠が出土しています。さらに、石馬谷古墳 map 7(全長61.2mの前方後円墳)は、石馬が立てられていたとされる古墳です。

石馬は馬の埴輪を石で作ったもので、鞍などの馬具が表現され、一部には赤い顔料のあとも見られることから、石馬が赤色に塗られていたことがわかります。

石馬や人物をかたどった石人などを古墳に並べる例は九州に多くあり、本州では淀江の石馬が唯一です。淀江の石馬は大山産の角閃石安山岩製であり、地元で造られたものですが、淀江が古墳時代の九州との深い関わりをもっていたことがうかがえます。昭和34年に国の重要文化財に指定されています。

向山古墳群は西伯耆を代表する前方後円墳をもち、淀江平野と他地域との交流を知ることのできる古墳群です。

日本のシンデレラ

玉清姫は実在した！

「玉の輿」の由来

かつては、おとぎ話だと思われていた玉清姫伝説。だが、淀江で古代寺院・上淀廃寺が発掘された。玉清姫が実在したとすれば、上淀廃寺が法隆寺に匹敵する仏教美術を有していた謎が解けるのだ！



聖武天皇の母だった！

淀江～大山町の伝説（朝妻縁起、大山寺縁起）によると、病気がちの父親に代わって都にのぼり働いた親孝行な13歳の女の子がいた。伯耆の国のタマちゃん（玉清姫）が文武天皇に見初められ、なんとお后になったという。そして産んだ子が、のちに日本に仏教文化を広めたことで有名な聖武天皇である。

白鳳の丘展示館のレプリカ大仏は必見

奈良の大仏のルーツか！？

疫病や飢饉など、当時の日本で相次ぐ社会不安を一掃する大事業が、大毘盧遮那仏の造営だった。これを聖武天皇に強く勧めたのが、母・宮子（玉清姫）だと言われている。おそらく、ふるさと・淀江の大仏を思い浮かべてのことだったに違いない。

妄想？ 真実？ 淀江伝説



当時は大陸に、唐という強大な国家が現れ、朝鮮半島の国を次々滅ぼしていく時代。淀江には多くの難民が押し寄せ、仏教文化が流入した。寺院建立の工事現場を遊び場にして育った女の子がいた。仏教美術に興味を持って最先端の知識を吸収した利発な彼女は、仏教文化を取り入れた都づくりの現場で、渡来人の通訳として引っ張りだこに。才色兼備、伯耆国の玉清姫と呼ばれるようになり、都で知らぬ者のいない有名人になった。

ガラスの靴よりロマンチック？ 蓮の花を咲かせた玉清姫



玉清姫が帝の御前を歩くと、足跡から次々蓮の花が咲いたと大山寺縁起に記述がある。まさに日本のシンデレラ伝説だ！



文武天皇のお后に！

やがて文武天皇の目にとまり、寵愛を受ける。これに目をつけた当時の権力者・藤原不比等が玉清姫を養女に迎え、藤原宮子として、宮中に輿入れさせる。これが世に言う「玉の輿」の由来ではないだろうか。

法隆寺に匹敵する仏教美術を有する上淀廃寺が建立された！



文武天皇は、宮子の故郷・淀江の里に寺院を建立させる。それが中央に引けを取らない立派な寺院、上淀廃寺の正体なのだ。塔の建設が未完の謎は、文武天皇の早世が理由と考えれば、つじつまが合う。

妄想？ 真実？ 貴方が決めてごしない！

【飛鳥～平安時代の淀江】 上淀廃寺の完成は西暦 683 年 米子の郵便番号と同じと覚えよう

中原 齊 米子市文化振興課専門官

淀江定説



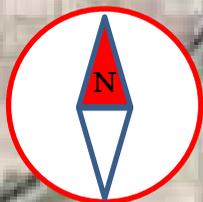
巨大な前方後円墳を次々と築造していた淀江では、飛鳥時代（683年）になると古墳に代わるモニュメントとして仏教寺院の建立が始まりました。この上淀廃寺 map 8 では、仏像を安置した金堂と並んで三重塔が建築されますが、塔が2基ないし3基南北に並び配置は他に例をみないものでした。塔・金堂は中門・回廊・築地で囲まれ、広大な境内には「七堂伽藍」と呼ばれる壮大な建物が立ち並びました。見晴らしのよい後背丘陵には、寺院を建立した豪族の居館も発見されています。

金堂内には丈六丈八の如来像（塑像）と脇侍の菩薩像、四天王像などが安置され、壁面は極彩色の仏教壁画で飾られた「みほとけの世界」が出現しました。壁画は奈良の法隆寺金堂壁画が我が国唯一のもと考えられていましたが、1300年の時を経て淀江で出土したことにより、この地に大和に劣らない仏教文化が栄えていたことがわかりました。また、お堂の軒先を飾った「上淀廃寺式」と呼ばれる瓦の文様は独特なもので、当時の国境を超えて、出雲国や隠岐国の古代寺院にも採用される影響力をもっていました。奈良時代には荘厳な姿を誇った上淀廃寺もやがて衰微していき、創建から約300年がたった平安時代に火災により失われます。発掘調査で発見された大量の焼土や炭が火災のすさまじさを物語っており、壁画や塑像片もこの中から発見されました。

国史跡に指定された上淀廃寺跡 map 8 には、発掘された時の様子や金堂基壇などが再現されています。また、上淀白鳳の丘展示館 map 1 には、壁画・塑像・瓦などの出土品と併せて、金堂内の仏像・壁画が復元展示されており、再現された白鳳・天平文化の華が人々を魅了しています。



名水スポットやサイノカミを巡るコースです。



伯耆古代の丘公園

5

START

GOAL

4

8

上渡麩寺跡

向山4号墳

淀江ゆめ温泉

③名水とサイノカミさんコース(5.5km)

START 伯耆古代の丘公園

↓(25min)

EXTRA(中西尾サイノカミ)

↓(10min)

高井谷サイノカミ

↓(1min)

天の真名井

↓(10min)

上津守神社

↓(10min)

湯口の泉

稲吉サイノカミ

↓(25min)

GOAL 伯耆古代の丘公園

淀江平野



絵画土器解説

QRコード読み込むと
角田遺跡から出土した
絵画土器の解説がお聴き
いただけます。

住宅地



★ サイノカミ

● 名水スポット

EXTRA コース

角田遺跡



天の真名井

湯口の泉

13

11

上津守神社

淀江の歴史や文化を体験できる史跡や観光施設を紹介します。旅の途中に是非お立ち寄りください。

国史跡・上淀廃寺跡



国内最古級の仏教壁画が出土した。飛鳥時代に建立、平安時代に火災で焼失した。本来の名前は不明なため「上淀廃寺」とよばれている。秋はヒガンバナが美しい。

☎0859-56-2271

上淀白鳳の丘展示館



上淀廃寺の壁画・塑像・瓦などや向山古墳群の多彩な出土品を展示している。金堂内部が原寸大で再現され、丈六三尊の大仏と周りの壁面には極彩色の仏教壁画が復元されている。

☎0859-56-2271

伯耆古代の丘公園



国史跡・向山古墳群のある公園。園内では、万葉集の草花などを四季折々に楽しむことができる。古代ハスの園では6月から8月にかけておよそ2,000年前の大賀ハスなどが楽しめる。

☎0859-56-6817

淀江ゆめ温泉



アルカリ単純泉の温泉。湧出量が豊富なためかけ流しのいつでも新鮮なお湯が楽しめる。レストラン「ゆめ亭」では軽食や飲み物を提供している。

☎0859-56-6801

国史跡・妻木晩田遺跡



大山町と米子市にまたがる丘陵上にある我が国最大級の弥生遺跡。大山山麓に存在した弥生時代のクニの中心集落であったと考えられ、魏志倭人伝の世界を彷彿とさせる。

☎0859-37-4000

重要文化財・石馬



本州では唯一淀江に存在する石製の馬埴輪。石馬谷古墳に立てられていたと推定され。江戸時代には石馬大明神として信仰されていた。見学申込は上淀白鳳の丘展示館へ。

☎0859-56-2271

淀江町へのアクセス

ACCESS

- 岡山**
JR伯備線山陰本線
【岡山駅→米子駅→淀江駅】
●所要時間 約2時間30分
- 米子**
JR山陰本線
【米子駅→淀江駅】
●所要時間 約13分
- 落合JCTより**
●所要時間 約60分
- 米子駅より**
●所要時間 約25分



② 古代の淀江満喫コース(3.5km)

淀江の歴史をたっぷり体感できるコースです。

START 伯耆古代の丘公園

↓(25min)

妻木晩田遺跡

(洞ノ原地区)

↓(25min)

岩屋古墳

↓(10min)

GOAL 上淀白鳳の丘展示館



山陰道

白鳳高校

妻木晩田遺跡

山道注意



むきばんだ上空映像
QRコード読み込むと妻木
晩田遺跡上空の映像がご覧
いただけます。
(Youtubeにつながります)



伯耆古代の丘公園

5

START

4

岩屋古墳

淀江ゆめ温泉

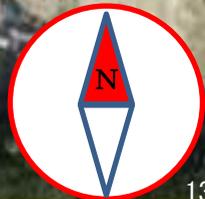
GOAL

上淀白鳳の丘展示館



上淀廃寺跡

8



※マップ内の数字は各時代の解説文の番号に対応しています。